【ご記入上の注意：書式 M-7】

- **最新版の書式ファイル** をJCMのホームページからダウンロードして使用
- **Adobe Acrobat** または **Reader** を使用して書類を作成（他社製のPDF編集ツールを使用して書類作成しない）

原本を郵送 または 電子ファイルで提出

（書式 M-7）

2022 年 8 月 10 日

書類作成日を記入

バイオセーフティーレベル 2 微生物株利用誓約書

国立研究開発法人理化学研究所バイオリソース研究センター

微生物材料開発室　御中

機関公印、会社印または職印 を押印（私印、ゴム印は不可）

《利用者》

機関名・会社名：株式会社〇〇 ××研究所

住　所：〒 305-0074　茨城県

つくば市高野台　3－1－1

機　関　長：代表取締役社長　筑波 花子　公印 会社印 職印

研究責任者：高野台 次郎　印

担 当 者：理研 太郎　印

機関長の **職名を併記**

本書式の機関長として以下の立場の方を想定

- **社長**（企業等）
- **学長**または**学部長/研究科長**（大学/大学院等）
- **所長**（公立の研究所等）
- **知的財産管理に関する部署の責任者**
- **安全管理に関する部署の責任者**

利用者はレベル 2 に該当する以下の微生物株の使用に当たっては、関係法令、ガイドライン（日本細菌学会、厚生労働省「大学等における研究用微生物安全管理マニュアル」）の指針を遵守します。

記

1. 提供された微生物株は上記担当部門の責任者または使用者が使用し、共同研究者以外の第3者に利用させません。
2. 提供された微生物株を使用するときは、実験区域を限定した上で実験を行い、実験中は関係者以外の立ち入りを禁止します。
3. 提供された微生物株が不要になったときは、当方の責任において危険のないよう滅菌・廃棄します。
4. 提供された微生物株によって発生した損失に関わる一切の責任は当方で負います。
5. 利用者は、提供された微生物株が、欠点、危険な特性、不具合等を有している可能性があること、あるいは特定の目的に合致しているとは限らないことを認識し、提供された微生物株の利用によって損失が生じた場合は自らの責任で処理します。

微　生　物　名	JCM No.	本 数
Campylobacter rectus	6301	1
Campylobacter rectus	6302	1
Campylobacter lari subsp. lari	14870	1
計	3 株	3 本

BSL2に **該当する微生物株のみ** 記載

BSL2に該当する微生物株が10株を超える依頼の場合は別紙を添付

こちらに「別紙に記載」と記入し、必要な情報（微生物名、JCM番号、本数）を記載した別紙（別紙タイトル：バイオセーフティレベル2微生物株利用誓約書 別紙）を本書式に添付